

平成 19 年 6 月 4 日

定期検査中の 3 号機タービン建屋海水ストームサンプルピットへの
水の流入の調査結果について

東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

定期検査中の 3 号機において、空気圧縮機^{*1}の冷却水（非放射性）を海水ストームサンプルタンク^{*2}で受けていたところ、平成 19 年 4 月 26 日午前 8 時 21 分頃、同タンクの水位が高くなったことを示す警報が発生しました。

その後、同日午前 8 時 34 分頃、当直員がタービン建屋地下 2 階の現場を確認したところ、同タンクから溢れた水が海水ストームサンプルピット^{*3}へ流れ込み滞留していること、また、同タンクの排水ポンプが自動起動し、タンク内の水位が下がっていることを確認しました。

海水ストームサンプルピットに滞留した水は約 1,600 リットルで、同日、回収いたしました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

([平成 19 年 4 月 27 日お知らせ済み](#))

調査の結果、以下のことがわかりました。

- ・同タンクの水位が起動位置まで上昇しているにもかかわらず、排水ポンプが自動起動していなかったこと。
- ・当社社員が現場を確認している際に、排水ポンプが自動起動し、排水運転状態には異常がなかったこと。
- ・その後の水位上昇により排水ポンプは正常に自動起動したこと。
- ・排水ポンプを起動させるスイッチを点検したところ、排水ポンプを自動起動させる設定値に異常がなかったこと。

排水ポンプが自動起動しなかった原因は、水位上昇により排水ポンプを起動させるためのスイッチが一時的に動作不良を起こしたことによるものと推定しました。

対策として、排水ポンプの起動を当該スイッチのほか、別のスイッチでも自動起動する仕組みに変更しました。

また、一時的に動作不良を起こしたスイッチについては、念のため、新品に交換します。

以 上

* 1 : 空気圧縮機

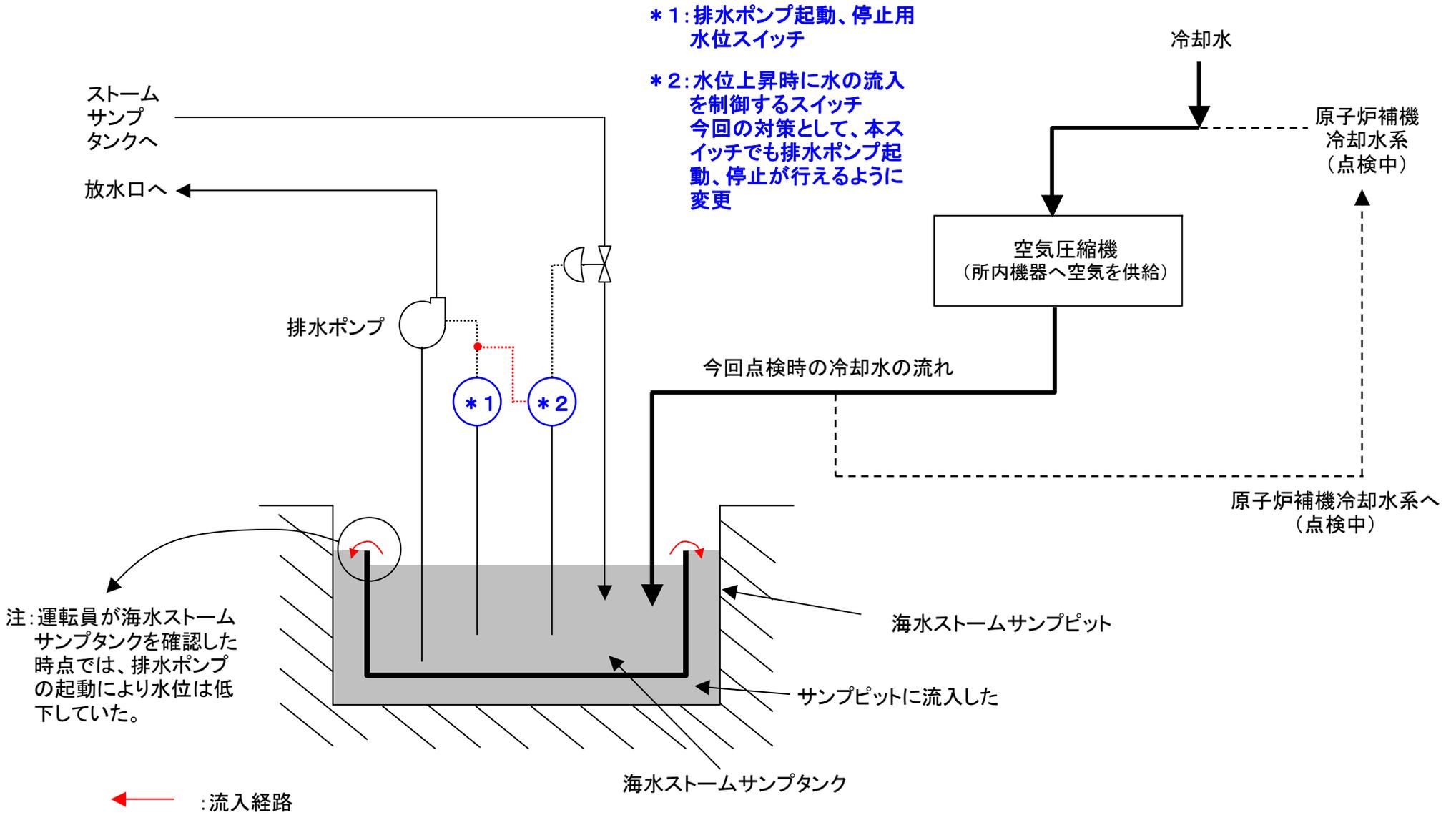
空気作動工具、機器の洗浄、フィルタの逆洗およびタンクのかく拌等の空気を供給する設備。

* 2 : 海水ストームサンプタンク

タービン建屋内の復水器冷却水に使用される海水および各建屋内の機器からの非放射性の排水等を受けるためのタンク。

* 3 : 海水ストームサンプピット

海水ストームサンプタンクより溢れた水を受けるために、同タンク周りに設置された枡（ます）。



系統概略図